

緑化防水工法

緑が街にやって来る

カーナート

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

東京・千住東
東京・日本橋久松町

知的オフィスが会社を変える

2つずつ向かい合ったデスクにフロア全体を明るく照らす照明。そんなありふれたオフィスの風景は、過去の姿になりそう。ここ数年、オフィス環境と生産性、創造性、効率性の関係は広く認知され、ICT(情報通信技術)などの先端技術を駆使した空間や照明、空調、オフィス

家具の研究が進む。特に、全員をひとくくりで考えず、ワーカーの個別最適を追求する取り組みが生産性の向上と省エネに貢献している。また、経営コンサルティングからオフィスづくりまで、ワークスタイルの変革を一気通貫で手掛ける動きも始まった。

ICTなど先端技術駆使

全体均一から個別最適へ

話題縦横

「人の行動は快・不快をもとに決まる。万人に共通の最適環境はない」。高度な機能的オフィス環境づくりを目指す知的オフィス環境コンサルタントの三木光範会長(同志社大理工学部教授)は、知的オフィスづくりの基本となる考え方を示す。もっとも研究が進んでいる照



コクヨのエコライプオフィス品川。自然の中で動くスタイルも提案

明を例に挙げると、最適な照度や色温度は人によって異なり、同じ人でも体調が悪いときは暗い方が仕事をしやすいなど、個別状態に応じた最適解が存在するといったことになる。

■電力使用量の大幅低減に
これまで全体を照らしていた

生産・創造性を向上、省エネも

照明が、個別制御により大部分を暗くできることで就業時の電力使用量の大幅な低減につながる省エネ、CO₂削減にも寄与する。実際にオフィスビルに導入され、実験が進んでいる例もある。

すでに、最適な光環境を選択できる製品も発表されている。コクヨファニチャーが10月に発売したデスク一体型のLED照明システム「インテリジェントワークライティング」は、6つのワークシーンから動き方に応じた環境を選択操作すること、創造的な仕事につながる効果を生み出す。照度2000〜7000ルクス、色温度3000〜6500ケルビンから組み合わせ、最適な光環境を実現できる。

■照明を1灯ずつ制御
オフィスビルの大型化により1フロアごとの面積が広がる中、照明の制御は重要な課題となってくる。日建設計が設計を手掛けたオフィスビルには、人の有無を感知して照明を1灯ずつ制御できるシステムが採用された場もある。

■照明を1灯ずつ制御
さらに照明のスイッチがないため、壁で間仕切りを変更しても困らないレイアウトフリーの空間もできる。試算では66%の省エネになるほか、点灯・消灯によって人の有無が確認できるため、セキュリティ向上につながる。

■照明を1灯ずつ制御
根本的な動き方の革命は、ハードを変更するだけでなく、企業の経営方針まで踏み込んで考える必要がある。日本IBMと

内田洋行は業務提携を結び、コンサルティングサービスからワークプレイスの構築までを一貫して支援するサービスを始めた。

■働き方を考える必要も
国際化の進展により、企業内外のコミュニケーションのあり方が変化する中、同社はICTの活用がポイントになると考えている。従来のコミュニケーションを前提にICTを活用するのは難しく、まずICTありきでコミュニケーションの可能性を考えると、言い換えれば、ICTの効果も最大限に発揮できるように、働き方を変えていく必要があるということだ。

■働き方を考える必要も
個人のデスクを持たないフリーアドレスなど、ワークスタイルの変化に最初はとまどうケースは多いという。しかし、コミュニケーションの多様化や可変環境などを通じて、企業の活性化や創造性がプラス方向に働いている事例は確実に増えている。省エネ効果などの実利を伴う技術の進化により、オフィスの変革が加速し始めた。

建設業労働災害防止協会(銭高一善会長)は、「建設業年末年始労働災害防止強調期間」(12月1日〜2011年1月15日)に向けて実施要領を作成した。年末年始は工事の輻輳(ふくそう)化などで労働災害が多発する傾向にあるため、「無事故の

無事故の歳

報値)は、過去最少となった昨年の同時期に比べて2人減少し、242人となっている。ただ、墜落・転落災害は17人増加し、107人となっているため、厚生労働省の緊急要請を踏まえ、建災防では労働災害防止活動を積極的

労働災害が発生しやすいため、同期間を契機に経営トップを始め関係者に対して、店社と作業所との緊密な連携の下、リスクアセスメントや建設業労働安全衛生マネジメントシステム(コスモス)の導入など効果的な安

通労働災害、火災・爆発等災害、不安全行動による災害防止、公衆災害、積雪・雪崩災害防止、酸素欠乏症防止、有機溶剤中毒予防、一酸化炭素中毒防止の各対策を徹底するよう実施要領に明示し、店社と作業所の実態に応じた項目を確定して実施計画